

## 5. 試験概要と受験方法

### (1) PB 資格試験の種類と特性

PB 資格認定制度には 3 ランクの資格試験があり、資格により試験科目、試験時間、受験料等が異なります。

次ページの表およびその後の補足説明もご覧いただいたうえで、受験を申し込んで下さい。

詳しくは、協会ウェブサイト>「PB トップ」> 各資格の「受験ガイド」をご覧ください。

- ①受験資格：資格により、誰でも受験できるものと、一定の要件を備えていることを求められるものがあります。
- ②試験方法：コンピュータ試験が中心ですが、筆記試験が課される資格もあります。
- ③試験免除：受験者が持っている資格に応じて試験の一部免除があります。
- ④受験料割引：受験者が、1) 当協会の CMA、一般会員、個人賛助会員、検定会員補 (CCMA)、2) 法人会員・法人賛助会員の役職員の場合には受験料の割引があります。
- ⑤申込方法：受験の申込みは、すべて当協会ウェブサイトからお願いします。
- ⑥試験会場：コンピュータ試験は、全都道府県 100 か所余の会場で、年末年始、祝祭日等を除き、概ね 9 時から 17 時までの間でほぼ毎日受験できます (会場によっては休日閉まっているところも多いので各会場にご確認下さい)。
- ⑦サンプル問題：協会のウェブサイトにサンプル問題を掲示しています。
- ⑧筆記試験は投資政策書の作成です。

PB 資格試験のいわば最終ターゲットである「投資政策書」の作成については、PB テキストにも書かれています。当協会ウェブサイト上に以下の資料を公表していますので参照して下さい。

イ. 受験者に用意する資料として、

- i. 投資政策書の作成ガイド
- ii. 投資政策書の作成手順図
- iii. 投資政策書作成の手引き
- iv. 投資政策書・ケーススタディの目次例
- v. 投資政策書の全容 (ケーススタディ 1、ケーススタディ 2)

ロ. 資料の提供方法

上記 i ~ iv は一般にも公開し、v の投資政策書の全容については、受験者のみ閲覧できる形式にします。v は、実際の試験問題に準じた投資政策書・ケーススタディのサンプルです。

## 5. 試験概要と受験方法

(表3) 【試験概要と受験方法】

	PB コーディネーター (初級レベル)	プライマリーPB (中級レベル)	シニア PB (上級レベル)
受験資格	誰でも受験可能		・プライマリーPB ・CMA、証券アナリスト1次合格者 ・1級FP、CFP
試験形式	コンピュータ試験 (3肢択一式)	コンピュータ試験(4~5肢択一式) (3単位、単位ごと受験可能)	・コンピュータ試験(4~5肢択一式) (3単位、単位ごと受験可能) ・コンピュータ試験合格後、筆記試験 (レポート形式)を受験
試験内容	総合試験 (ウェルスマネジメント、税金、不動産、リレーションシップマネジメント、信託・エステートプランニング、マス富裕層、職業倫理)	第1単位(ウェルスマネジメント) 第2単位(税金、不動産) 第3単位(リレーションシップマネジメント、信託・エステートプランニング、マス富裕層、職業倫理)	第1単位(ウェルスマネジメント) 第2単位(税金、不動産) 第3単位(リレーションシップマネジメント、信託・エステートプランニング、マス富裕層、職業倫理) 筆記試験(投資政策書の作成)
問題数等	130問	第1単位64問(WM64問) 第2単位65問(税金36問、不動産29問) 第3単位71問(RM20問、信託23問、マス富12問、職業倫理16問)	第1単位50問(WM50問) 第2単位35問(税金18問、不動産17問) 第3単位35問(RM5問、信託13問、マス富11問、職業倫理6問) 筆記試験(A4レポート用紙20頁)
試験時間等	120分	各単位120分	第1単位180分 第2・第3単位各120分 筆記試験(約1か月以内提出)
足切り	なし	第3単位のRMと職業倫理は一定水準以上の点数を取らないと、総合点が合格水準に達していても不合格(足切り)となります。	
合格最低点	公表していません。		
合否の判明	・コンピュータ試験は、試験終了後直ちに合否が判明。(日曜日までに不合格となった場合、再申込は翌週の金曜日から可能) ・筆記試験は、答案締切り後約4か月後に協会ウェブサイトにて合否を公表。(合否公表は8月末、2月末)受験者には採点結果および講評をメールにてフィードバック。		
資格取得の条件	1回の試験に合格	3年以内に3単位の取得	3年以内に3単位を取得し、その後3年以内に筆記試験合格。 但し、2年以上の実務経験が必要。
コンピュータ試験の一部免除 (詳細は表4参照)	なし	・CMA、証券アナリスト1次合格者、証券アナリスト基礎講座修了者は、ウェルスマネジメントの一部免除 ・税理士、公認会計士、1級FP、CFPは、税金の一部免除	CMA、証券アナリスト1次合格者は、ウェルスマネジメントの一部免除
受験料	7,000円	各単位8,200円	第1単位12,300円 第2・第3単位各9,300円 筆記試験10,300円
割引制度	割引対象:①CMA、CCMA、一般会員、個人賛助会員、②法人会員・法人賛助会員の役職者 割引率:①または②のいずれかに該当すればコンピュータ試験を1割引。双方に該当すれば2割引。		
試験会場等	・コンピュータ試験は、全国100か所余の試験会場で、土日を含め、概ね9時から17時までの間でほぼ毎日受験可能(会場により差があります)。なお、祝祭日、年末年始を除く。 ・筆記試験は、協会から郵送された試験問題の解答(投資政策書)を約1か月以内(消印有効)に協会宛提出。春・秋の年2回実施。(受験申込の受付締切りは3月末、9月末。試験問題の送付は4月、10月の第2金曜日)		
受験申込	当協会ウェブサイトからお申し込み下さい URL: <a href="https://www.saa.or.jp/pb/">https://www.saa.or.jp/pb/</a>		

(表 4) 【コンピュータ試験の一部免除】

	免除対象者	免除内容	テキスト対応箇所
PBコーディネーター (初級レベル)		なし	
プライマリーPB (中級レベル)	CMA、証券アナリスト1次合格者、証券アナリスト基礎講座修了者	・第1単位 ウェルスマネジメントの一部(12問)を免除。 ・試験時間を100分に短縮。	・「プライベートバンキング上巻」第2章 ウェルスマネジメント 3.商品概要およびアセットアロケーション ・「証券アナリスト基礎講座」
	税理士、公認会計士、1級FP、CFP	・第2単位 税金の一部(12問)を免除。 ・試験時間を100分に短縮。	・「プライベートバンキング下巻」第4章 税金 1.日本の税法体系、2.個人の税法体系、3.法人の税法体系、4.消費税
シニアPB (上級レベル)	CMA、証券アナリスト1次合格者	・第1単位 ウェルスマネジメントの一部(10問)を免除。 ・試験時間を160分に短縮。	・「プライベートバンキング上巻」第2章 ウェルスマネジメント 3.商品概要およびアセットアロケーション ・「証券アナリスト通信教育講座(証券分析とポートフォリオ・マネジメント)」

**(2) 合否判定****① 単位の取得**

コンピュータ試験は、一定以上得点することで単位の取得が認められます。合格最低点については実務家、学者等の有識者で構成される「PB 資格試験委員会」で決定します。

合否判定は、単位ごとに行われます。

ただし、第 3 単位の試験科目のうち職業倫理と RM（リレーションシップ・マネジメント）それぞれの得点が一定水準に達しない場合には、たとえその単位の総合点が合格水準に達していても不合格となります。

また、合格最低点、過去問等については公表しておりません。

**② 単位取得と資格認定**

イ. PB コーディネーターは、単位の区分はなく、1 回の試験で合否が判定され資格が認定されます。

ロ. プライマリーPB とシニア PB は、7 科目を 3 つの単位に振り分けています。取得した単位は単位ごとに管理され、有効期間は取得後 3 年間です。

ハ. したがって、プライマリーPB では、資格認定を受けるためには、1 つ目の単位を取得した日から、残り 2 つの単位を 3 年以内に取得する必要があります。有効期間が経過し失効した単位は再度受験してください。

ニ. シニア PB では、同様に 3 年以内に 3 単位を取得することによって筆記試験の受験資格が得られます。また、シニア PB のコンピュータ試験 3 単位を取得後、3 年以内（受験機会は最大 6 回）に筆記試験に合格しないと筆記試験の受験資格のみならずコンピュータ試験 3 単位の合格も失効するので注意してください。なお、筆記試験の合否判定は、「PB 資格試験委員会」が行います。筆記試験合格者でかつ 2 年間の実務経験を有する方がシニア PB に認定されます。

**③ 取得単位の失効**

上述のとおり、プライマリーPB およびシニア PB 試験で取得（合格）した単位は、単位ごとに管理され、それぞれ 3 年間有効です。したがって、資格を取得するためには、ある単位を取得した日から 3 年以内に残りの単位を取得する必要がありますが、これができない場合には、一番有効期限の古い単位から順次 3 年間で無効になり、改めて受験し直すことになります。

また、上記②に記載されているように、シニア PB のコンピュータ試験 3 単位取得後、3 年以内に筆記試験に合格しないと、筆記試験の受験資格とコンピュータ試験 3 単位合格も失効します。

**(3) 資格認定に要する実務経験等****① シニア PB に求められる実務経験**

イ. シニア PB の場合、コンピュータ試験 3 単位を取得して筆記試験に合格した上で 2 年以上の実務経験が資格認定の要件になります。

ロ. 実務経験の基準は、金融機関等で、直接・間接に個人顧客や法人顧客を対象に、PB 関連業務ないしそれに派生する業務を累計で 2 年以上営んでいる方です。

これには、税理士、公認会計士、弁護士、投資顧問、ファイナンシャルプランナー等専門家として2年以上PB関連業務を営んでいる方も含まれます。

CMA 資格保有者は、元々3年以上の実務経験が必要となっていますので、この要件は既に満たされていることとなります。

- ハ. 上記 ロ. に該当しない場合でも、PB コーディネーター資格またはプライマリーPB 資格を取得して、当協会が提供する学習メニューを合計 30 ポイント取得した方は、実務経験の要件を満たしたとみなします。
- 二. シニア PB 筆記試験問題用紙に同封してお送りする、宣誓書、実務経験、受験資格は、必要事項を記入の上、筆記試験問題提出時にあわせてご返送ください。
- ホ. 前記の実務経験等の内容について、それを証明する書類等を協会が求める場合があります。虚偽の申告が判明したときは、資格を喪失することがあります。
- ヘ. 実務経験が足りているか疑問がある場合は、当協会 プライベートバンキング事務局 教育担当 (E-mail : [pb@saa.or.jp](mailto:pb@saa.or.jp)) までお問い合わせください。

### ② 資格認定証と PB 資格認定 ID カードの交付

各資格試験に合格し当協会が資格認定を行った方に対し、資格認定証と PB 資格認定 ID カード（以下、「ID カード」）を交付します。ID カードは資格を証するものとして必ず携行し、顧客の求めに応じ呈示することを義務づけています。

ID カードには資格取得日と有効期限が明示されており、有効期間は2年間です。2年間で所要の継続教育ポイントを取得することで資格が更新され、新しいIDカードが交付されます。

資格認定者はPB職業行為基準を十分に理解し、IDカードの携行・呈示を含め誠実に職務を励行し、プライベートバンカーの社会的信用および地位の向上に努めなければなりません。

なお、IDカードの発行に関し、資格取得時、資格更新時は無料ですが、紛失等による再交付は有料（実費）になります。